ランプ交換方法

⚠警告	必ず電源を切り、器具とランプが冷めてから交換してください。感電·やけどの原因となります。

●ランプが黒化したり、ちらつきだしたら寿命です。すみやかに下記の手順で交換してください。

1.カバーを取外す → **2.ランプを交換する** → **3.カバーを取付ける**

2.ランプを交換する
●ランプは小さい方から順にセットしてください。
●ソケットを適合ランプに最後まで確実に差し込んでください。

3.カバーを取付ける
本紙❽の「カバーを取付ける」の項をご参照ください。

注)ランプソケットとランプは組み合わせが決まっています。必ずランプサイズシールを確認のうえ、確実に差し込んでください。

注)ランプホルダーでランプを弾かないようご注意ください。

⚠警告

ランプは必ず器具表示または本説明書のものを使用してください。表示以外のランプを使用すると火災の原因となります。

ランプの取付けが不完全な場合、落下·不点·接触不良の原因となります。

ご使用上のご注意

●電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
●インバータ器具の近くで、ほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
●インバータ器具の近くで、室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
●調光比は約60〜70%ですが、室温、器具によって多少変化します。また調光状態になるまで数秒かかることがあります。
●室温が極端に低い場合、段階調光状態では点灯しないことがあります。100%点灯でご使用ください。
●長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。壁スイッチをONの状態で万が一停電がおこった場合、電源復帰後は自動的に100%点灯(全灯)状態になります。
●器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下·変質·変色の原因となります。
●ランプの取扱いは、交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。
●冬等の周囲温度が低い場合、明るくなるまでに時間が掛かったり、ちらつきが発生することがありますが、異常ではありません。
●天井の材質や構造によっては天井面が変色することがあります。

保証について

1．保証について
この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目
・ランプが切れていませんか。
・正常に点灯しますか。
・スイッチは正常に切替りますか。
・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
・可動部は異常なく動作しますか。
・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。
※不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または、当社「CSセンター」までお申し出ください。

(2)清掃 器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1〜2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木·竹·籐 布·和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2．異常時の処置
ランプ寿命(切れ)以外の異常は、工事店(購入先)にご相談ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談　　CSセンター　(0570)003-937(ナビダイヤル)へご連絡ください。
受付時間(月〜土曜)9：00〜17：00　日曜·祝祭日は受付しておりません。

取扱説明書

保存用

品番	DCL-36247L·36247N

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ ●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

工事店様へ ●施工前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

⚠警告　取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

厳守
この器具は天井取付専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災·落下の原因となります。

厳守
器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災·感電·落下の原因となります。

禁止
器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災·感電·落下の原因となります。

禁止
周囲温度5〜35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

禁止
器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災·感電·落下の原因となります。

分解禁止
器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災·感電·落下·転倒等の原因となります。

厳守
電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災·感電の原因となります。

厳守
煙·臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災·感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。

⚠注意　取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守
電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

厳守
右図のような取付け高さの場合は、電気設備の技術基準にしたがってアース工事を行ってください。アース工事を行わないと、感電の原因となります。アース工事は、工事店、電気店に依頼してください。

注意
照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8〜10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。
点検は、本説明書に従ってお願いします。(3〜5年に1度は有資格者の点検をおすすめします。)

大光電機株式会社
〒541−0043　大阪市中央区高麗橋3−2−7　高麗橋ビル6F
TEL：(06)6222−6240(代表)

C5-36247L-A

仕様

●屋内天井取付専用器具です。

●器具には木と和紙を使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。

●インバータ(50Hz/60Hz兼用)器具です。

●別売のタイマー付リモコン(DP-34223)･タイマー付液晶リモコン(DP-35354)使用可能です。

●ワットフリー形器具です。
66W～86Wまで対応可能です。
※商品出荷時は76W(ランプ付)です。
※66Wタイプ、86Wタイプに変更する際は、別途FHC27(38)Wのランプを購入してください。

品番	DCL-36247L			DCL-36247N		
定格電圧	交流　100V					
周波数	50/60Hz兼用					
消費電力 ※待機時 1W以下を要します。	77W	68W	57W	77W	68W	57W
入力電流	0.77A	0.69A	0.58A	0.77A	0.69A	0.58A
明るさ設定	86W	76W	66W	86W	76W	66W
適合ランプ ※76Wのみランプ付です。	FHC丸形蛍光灯　電球色 FHC34EL×1灯 +FHC27EL×1灯 GZ10q	FHC丸形蛍光灯　電球色 FHC34EL×1灯 +FHC20EL×1灯 GZ10q	FHC丸形蛍光灯　電球色 FHC27EL×1灯 +FHC20EL×1灯 GZ10q	FHC丸形蛍光灯　昼白色 FHC34EN×1灯 +FHC27EN×1灯 GZ10q	FHC丸形蛍光灯　昼白色 FHC34EN×1灯 +FHC20EN×1灯 GZ10q	FHC丸形蛍光灯　昼白色 FHC27EN×1灯 +FHC20EN×1灯 GZ10q
適合保安球	ナツメ球　5W　E12					
器具重量	約3.8kg					
電源接続	引掛シーリング					

各部の名称

※下図は、簡略した図です。

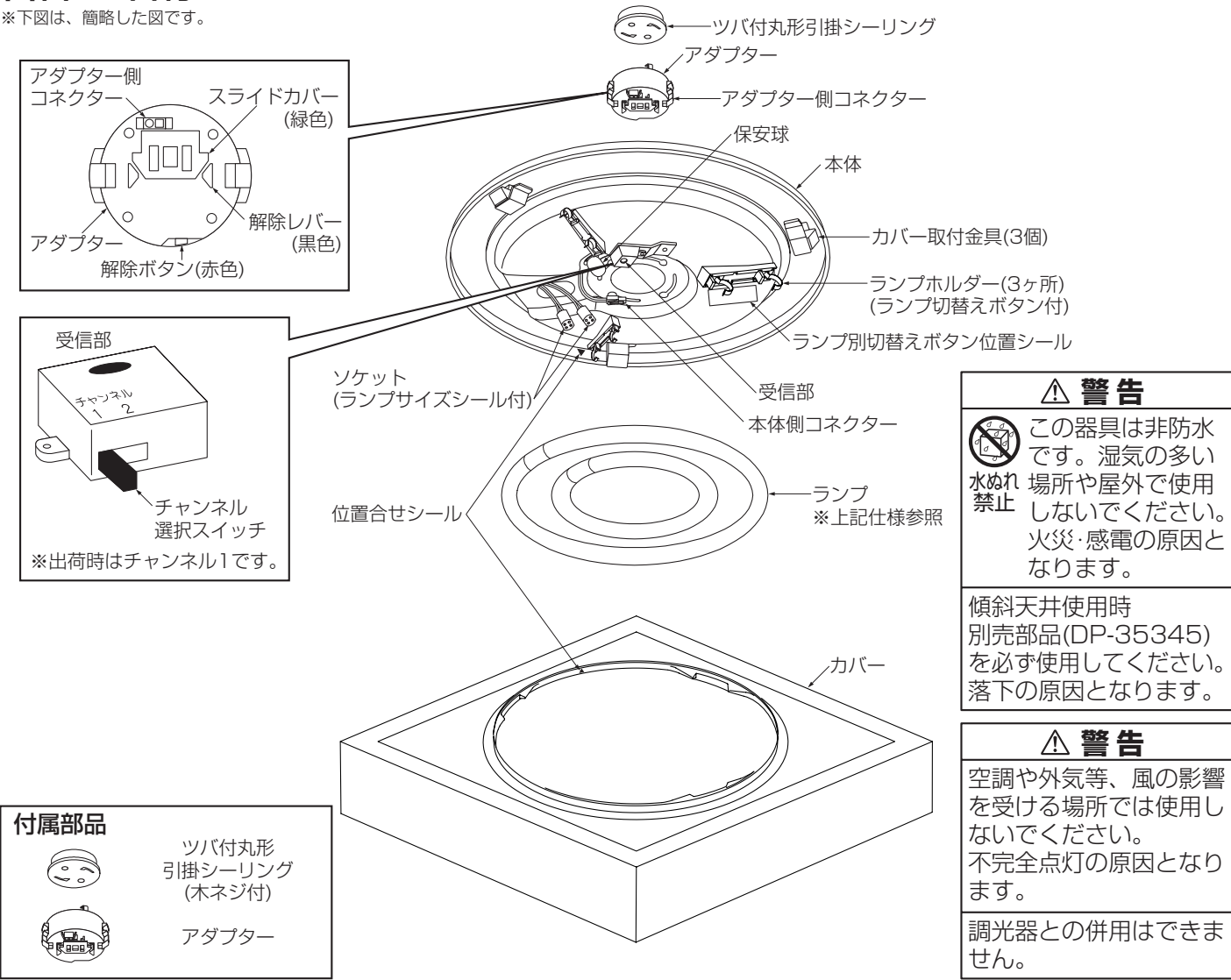
⚠ 警告

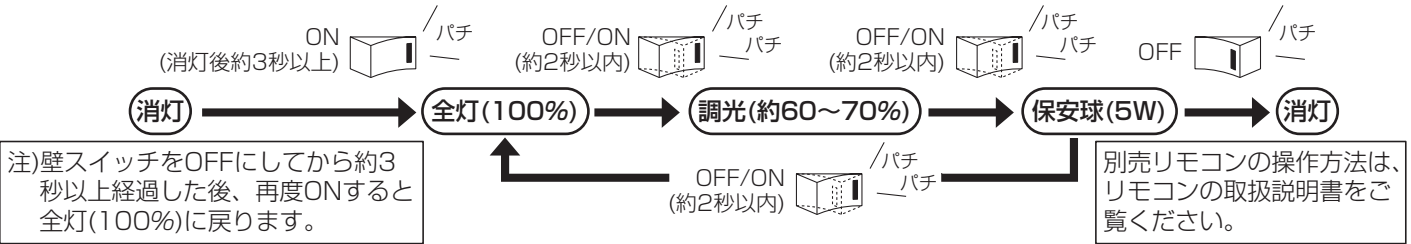
水ぬれ禁止　この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。火災･感電の原因となります。

傾斜天井使用時別売部品(DP-35345)を必ず使用してください。落下の原因となります。

⚠ 警告

空調や外気等、風の影響を受ける場所では使用しないでください。不完全点灯の原因となります。

調光器との併用はできません。

ご使用方法

●点灯の切り替えは、壁スイッチで操作してください。下図の順に切り替わります。

ランプ設定切替方法

⚠ 警告　必ず電源を切り、器具とランプが冷めてから交換してください。感電･やけどの原因となります。

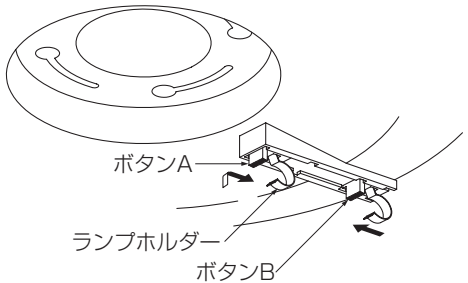
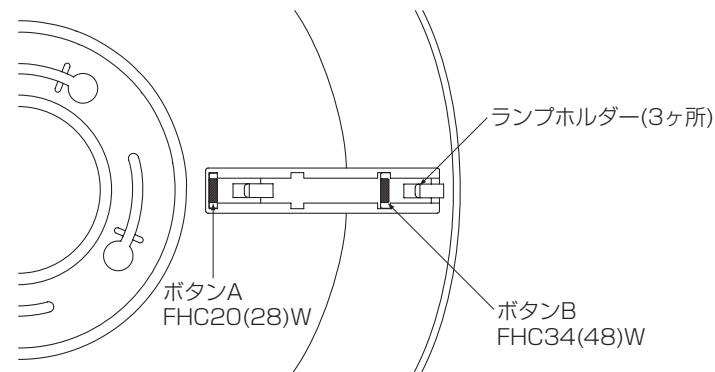
＜66Wまたは86Wに設定を変更する場合＞

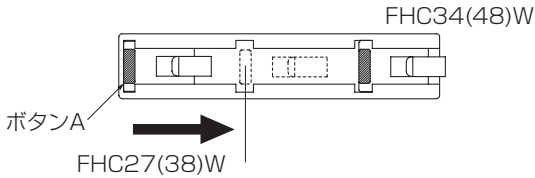
※商品出荷時は、76W［FHC20(28)W＋FHC34(48)W］ランプ付です。

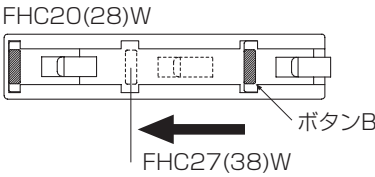
※作業の際は、「ランプ別、切替ボタン位置シール」を確認してください。

※別途、FHC27(38)Wのランプを準備してください。

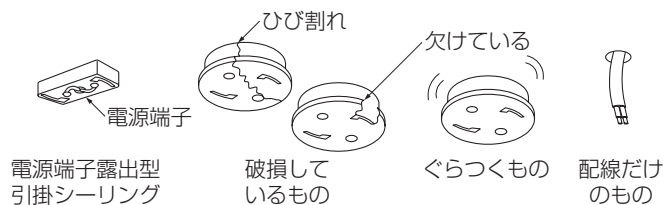
●ランプをすべて取外してください。

●W数に合わせ、ランプホルダーの位置を変更してください。
最後にカチッと音がするまで確実にスライドしてください。
(残りの2ヶ所のランプホルダーも同様に作業してください。)

[76Wの場合(商品出荷時)]

[86Wの場合]

●ボタンAを押しながら、ランプホルダーの中央の位置(カチッと音がするところ)まで確実にスライドしてください。

[66Wの場合]

●ボタンBを押しながら、ランプホルダーの中央の位置(カチッと音がするところ)まで確実にスライドしてください。

⚠ 警告

3ヶ所共同じ位置にランプホルダーを移動すること。ランプホルダーが異なった位置にあると、ランプの破損、落下の原因になります。

❶ 配線器具を確認する

●使用できないもの

⚠ 警告

上記のような配線器具には、器具を取付けないでください。火災·感電·落下の原因となります。
配線器具の交換·取付けは資格が必要です。工事店·電器店に依頼してください。

●使用できるもの

⚠ 警告

配線器具は充分な強度で取付けされていることを必ず確認してください。火災·感電·落下の原因となります。

❷ (別売リモコン使用時)受信部のチャンネル選択スイッチを確認する

●別売のタイマー付リモコン(DP-34223)·タイマー付液晶リモコン(DP-35354)が使用可能です。

●照明器具2台を別々にリモコン操作したい場合は、右表のようにスイッチを合わせてください。

選択スイッチ ＼ 器具台数	1台
受信部側	1ch
送信部側	1ch

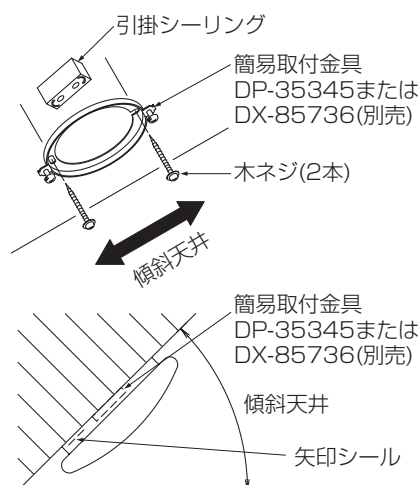
選択スイッチ ＼ 器具台数	1台目	2台目
受信部側	1ch	2ch
送信部側	1ch	2ch

※受信部と送信部のチャンネルが違っていると、リモコン操作はできません。
(出荷時、照明器具及びリモコンのチャンネルは1です。)

※リモコンの詳細は別紙「取扱説明書」をご覧ください。

❸ 傾斜天井(水平から45°)に取付ける場合

●必ず別売の簡易取付金具DP-35345または、DX-85736を使用してください。

●取付用木ネジおよび簡易取付金具DP-35345またはDX-85736(別売)の耳を傾斜天井に対して縦方向にして、引掛シーリングが中央に入るように、簡易取付金具を木ネジ(2本)で天井面の補強材のある位置に取付けてください。

●器具本体の矢印シールが傾斜方向の下側にくるように取付けてください。

●取付け出来る傾斜天井の角度は水平面から45°です。

簡易取付金具
DP-35345または
DX-85736(別売)
傾斜天井
矢印シール

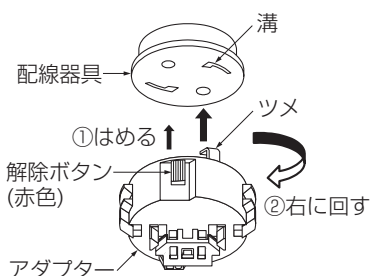
⚠ 警告

この器具は単体での傾斜天井への取付けはできません。傾斜天井(水平から45°)へ取付けの際は、上記条件をおまもりください。指定以外の取付けは、落下によるけがの原因となります。

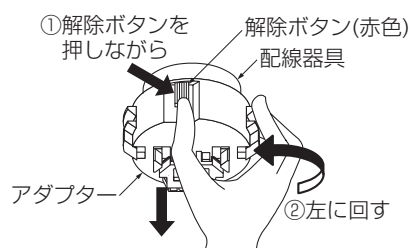
❹ アダプターを取付ける

●アダプター(ツメ)を配線器具(溝)に合わせ、音がするまで右に回してください。

⚠ 警告

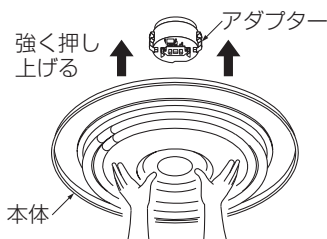
厳守

取付後、解除ボタン(赤色)を押さずに左に回し、外れないことを確認する。
取付けが不十分な場合、安全機能がはたらいて、本体が取付けられません。

<アダプターの取外し>

●アダプターの解除ボタン(赤色)を押さえながら、左に回してください。

⑤ 本体を取付ける(器具本体の表示も必ず確認のうえ、作業してください。)

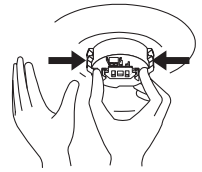
●下記の配線器具(高さ)の種類により取付けが異なります。下記内容に従い取付けを行なってください。

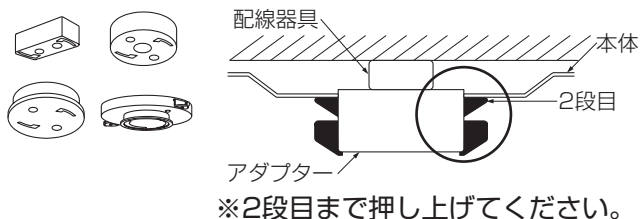
●本体(センター穴)をアダプターに合わせて、天井に密着するまで確実に押し上げて固定してください。

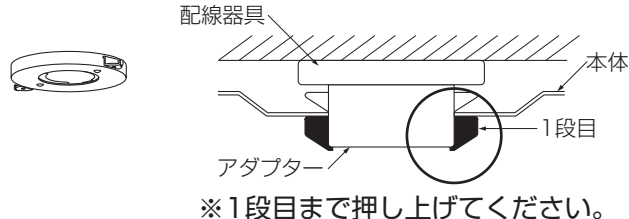
強く押し上げる
アダプター
本体

注)取付けの際、ランプを持ったり押さないでください。

⚠ 警 告	
厳守	本体が次のような場合は、再度本体を押し上げてください。そのまま使用すると落下の原因となります。 ●ガタガタする。 ●簡単に回転する。

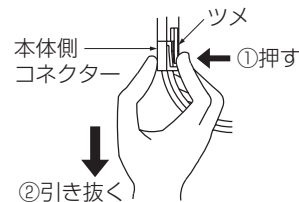
＜本体の取外し＞

●本体センター穴付近を片手で支えながら、解除レバー(黒色)をつまんでください。

⚠ 警 告	本体を支えないで外すと、本体が落下する原因となります。

※下記配線器具(高さ約22mm)の場合

※2段目まで押し上げてください。

※下記配線器具(高さ約11mm)の場合

※1段目まで押し上げてください。

⑥ 電源を接続する

●本体側のコネクターをアダプターに最後まで差し込み、確実に接続してください。(コネクターには方向性がある為、方向を合わせて接続してください。)

アダプター側コネクター
差し込む
本体側コネクター
スライドカバー

⚠ 警 告
接続が不完全な場合は、接続不良による火災の原因となります。

注)アダプター側コネクターがスライドカバー(緑色)にかくれて、コネクターが接続できない場合は、本体の押し上げが不十分です。再度本体を押し上げてください。

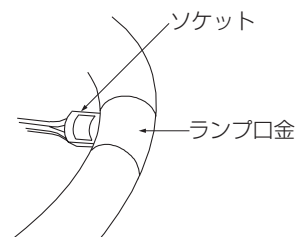
＜コネクターの取外し＞

●本体側コネクターのツメを押さえながら引き抜いてください。

⑦ ランプを確認する

●ソケットにランプの口金が確実に接続しているかを確認してください。(ランプをさわる際、ランプ口金は無理に回さないでください。)

●保安球がゆるんでいないかを確認してください。

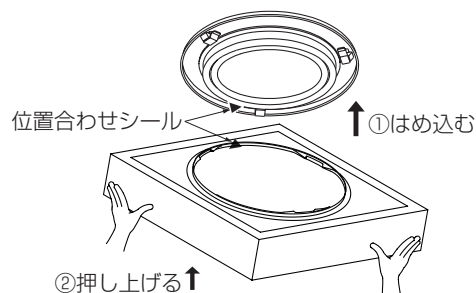
ソケット
ランプ口金

⚠ 警 告
ランプの取付けが不完全な場合、不点·接触不良の原因となります。

⑧ カバーを取付ける

注)破損したカバーは、使用しないでください。落下の原因となります。

●本体とカバーの位置合わせシールを合わせて、はめ込んでください。

●音がするまで上に押し上げてください。カバーが確実に取付いていることを確認してください。

位置合わせシール
①はめ込む
②押し上げる

⚠ 警 告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

⑨ 使用前に確認する

●取付状態·点灯状態を確認してください。